

こども教育宝仙大学 研究室だより 第4回

「こどもと美術と社会をつなぐ」

私の研究専門領域は美術です。美術というと、絵を描いたり、ものを作るといった個人の制作活動をイメージしがちですが、私の場合、そうした活動をこどもや社会とコラボレーションしながら研究を進めています。具体的に紹介すると、大きく二つの研究活動があります。

一つは、中野区内の保育園に在園しているこどもたちを中心にした造形表現活動の実践や、保育士・幼稚園教諭の先生方への造形表現の指導などを通じて、保育現場でのこどもの感性を引き出す表現について、実践的に学び合いの場をつくりながら、その意義を研究していく活動です。特に、この五年ほどは新聞紙を使った空間造形による表現活動を積極的に展開し、「つくる」ことと「遊び」の連続性について研究の考察を深めています。

二つ目の研究活動は、都市部において美術と出会うための場と機会をつくり出していく実践活動です。この活動では、中野区にある現代美術を紹介するギャラリーで、アートディレクターとして年間2回の展覧会を企画・キュレーションをしています。このような研究活動を通じ、美術がもつこどもや社会とのつながりや、人がつくりあげる文化の豊かさについて、再発見をしてみたいと考えています。（捧公志朗 研究分野：美術、保育における表現教育の実践）

